



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年10月24日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東  
 コード番号 6730 URL http://www.axell.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘 TEL 03-5298-1670  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,387	△15.5	△295	—	△288	—	△123	—
29年3月期第2四半期	4,010	△35.1	64	△91.7	63	△91.5	45	△91.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△11.06	—
29年3月期第2四半期	4.02	—

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	11,715	11,221	95.8	1,002.98
29年3月期	12,029	11,457	95.3	1,024.16

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 11,221百万円 29年3月期 11,457百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,900	23.5	20	△85.9	20	△87.7	45	△51.6	4.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	11,187,749株	29年3月期	11,187,749株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	152株	29年3月期	152株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,187,597株	29年3月期2Q	11,187,736株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、平成29年10月26日(木)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第2四半期累計期間) .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
3. その他 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8
(2) 最近における四半期毎の業績の推移 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善がみられるとともに、個人消費も緩やかに持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が持続いたしました。しかしながら、世界経済の不確実性が一層増大していることに加え、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の中心的市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、レジャーの多様化等に起因する市場の低迷に加え、業界団体による自主規制の影響により、パチンコ・パチスロ機の販売台数は通減傾向を示すなど、厳しい市場環境が続いております。また、平成30年2月に控えた依存症対策を目的とした「風適法施行規則等」の改正の影響は注視が必要であり、今後の市場動向はますます不透明な状況が続くものと考えております。

かかる環境の中で当社は、パチンコ・パチスロ機市場に向けた各種製品の販売活動に引き続き注力するとともに、組み込み機器市場（注）に向けたグラフィックスLSI及び「H2MD」等のソフトウェアIP、ミドルウェア製品等の新分野に向けた事業活動にも注力いたしました。また、新事業への展開等による収益構造の転換を目指して、アライアンスや出資の検討等を積極的に実施いたしました。

パチンコ・パチスロ機市場に向けた各種LSI製品は、市場環境の影響等を受け、前年同四半期比643百万円減（同16.4%減）となる3,288百万円の売上高となりました。主力製品である同市場向けグラフィックスLSIは、前年同四半期比約20万個減の約26万個の販売となりました。一方、同市場に向けたその他製品（LEDドライバLSI、メモリモジュール製品等）は、主にメモリモジュール製品の販売増加で前年同四半期を上回る販売となりました。

組み込み機器市場向けグラフィックスLSIは、当社製品採用メーカー各社の需要動向により、前年同四半期比3百万円増（同7.1%増）となる55百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板、「H2MD」等のソフトウェアIP、ミドルウェア製品等のその他製品は、前年同四半期比16百万円増（同61.7%増）となる43百万円の売上高となりました。以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期比622百万円減（同15.5%減）となる3,387百万円となりました。

売上総利益は売上高の減収に伴い前年同四半期比475百万円減（同26.0%減）となる1,352百万円となっております。当社の主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSI製品の粗利率は、量産効果等により改善いたしました。販売製品の構成比率の変動により、売上総利益率全体では前年同四半期比5.7ポイント低下となる39.9%となりました。

販売費及び一般管理費は、全般的な経費削減に加え、研究開発費が前年同四半期に比較し若干減少したことから、前年同四半期比115百万円減（同6.5%減）となる1,648百万円となりました。販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、前年同四半期比50百万円減（同4.0%減）となる1,211百万円となっております。

以上により、営業損失は295百万円（前年同四半期は営業利益64百万円）、経常損失は288百万円（前年同四半期は経常利益63百万円）、四半期純損失は123万円（前年同四半期は四半期純利益45百万円）となりました。

（注）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で314百万円減少となる11,715百万円（前事業年度末比2.6%減）となりました。主な要因は、売掛金の増加（416百万円）、前渡金の増加（589百万円）に対し、現金及び預金の減少（903百万円）、商品及び製品の減少（497百万円）等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で77百万円減少となる494百万円（前事業年度末比13.5%減）となりました。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で236百万円減少となる11,221百万円（前事業年度末比2.1%減）となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（179百万円）、その他有価証券評価差額金の減少（57百万円）によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は7,835百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動により減少した資金は805百万円（前年同四半期は95百万円の増加）となりました。これは主にたな卸資産の減少（498百万円）、減価償却費の計上（78百万円）に対し、当第2四半期累計期間における税引前四半期純損失（224百万円）、売上債権の増加（416百万円）、その他流動資産の増加（630百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動により支出した資金は37百万円（前年同四半期は321百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（17百万円）、投資有価証券の取得による支出（100百万円）に対し、投資有価証券の売却による収入（80百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動により支出した資金は55百万円（前年同四半期は56百万円の支出）となりました。これは配当金の支払額（55百万円）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想は、平成29年4月25日に開示いたしました「平成29年3月期 決算短信」に記載の通りです。当第2四半期累計期間の業績は、予想値に対して概ね計画通りに進展しているものと考えております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,738	7,835
売掛金	178	595
商品及び製品	1,443	946
原材料及び貯蔵品	0	0
前渡金	18	607
その他	128	259
流動資産合計	10,508	10,244
固定資産		
有形固定資産	342	291
無形固定資産	46	35
投資その他の資産	1,131	1,143
固定資産合計	1,520	1,470
資産合計	12,029	11,715
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	284	274
未払法人税等	—	9
その他	252	175
流動負債合計	536	459
固定負債		
資産除去債務	34	35
固定負債合計	34	35
負債合計	571	494
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	9,373	9,193
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,254	11,074
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	203	146
評価・換算差額等合計	203	146
純資産合計	11,457	11,221
負債純資産合計	12,029	11,715

(2) 四半期損益計算書  
 (第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	4,010	3,387
売上原価	2,182	2,035
売上総利益	1,827	1,352
販売費及び一般管理費	1,763	1,648
営業利益又は営業損失(△)	64	△295
営業外収益		
受取利息	—	0
受取配当金	2	4
為替差益	2	4
その他	1	0
営業外収益合計	6	9
営業外費用		
投資事業組合運用損	6	2
その他	0	0
営業外費用合計	6	2
経常利益又は経常損失(△)	63	△288
特別利益		
投資有価証券売却益	—	64
特別利益合計	—	64
特別損失		
会員権評価損	—	1
特別損失合計	—	1
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	63	△224
法人税等	18	△100
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45	△123

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	63	△224
減価償却費	93	78
受取利息及び受取配当金	△2	△5
投資事業組合運用損益 (△は益)	6	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△64
売上債権の増減額 (△は増加)	△617	△416
たな卸資産の増減額 (△は増加)	364	498
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	89	△630
仕入債務の増減額 (△は減少)	△129	△10
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	50	△27
その他	130	△32
小計	49	△833
利息及び配当金の受取額	2	5
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	43	22
営業活動によるキャッシュ・フロー	95	△805
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△163	△17
無形固定資産の取得による支出	△15	△4
投資有価証券の取得による支出	△135	△100
投資有価証券の売却による収入	—	80
投資事業組合からの分配による収入	—	6
その他	△7	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321	△37
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△0	—
配当金の支払額	△55	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56	△55
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△282	△903
現金及び現金同等物の期首残高	8,063	8,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,780	7,835

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	2,487	△23.2
組み込み機器向けLSI製品	65	122.3
その他	55	89.4
合計	2,608	△20.9

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)			
	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
	百万円	%	百万円	%
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	4,470	△5.3	2,299	△13.5
組み込み機器向けLSI製品	52	△1.7	40	39.2
その他	43	48.4	1	△45.5
合計	4,566	△5.0	2,341	△13.0

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	3,288	△16.4
組み込み機器向けLSI製品	55	7.1
その他	43	61.7
合計	3,387	△15.5

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 最近2事業年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
	百万円	%	百万円	%
緑屋電気株式会社	3,196	79.7	2,451	72.3
岡谷エレクトロニクス株式会社	234	5.9	558	16.5

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成30年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 29年4月～29年6月	第2四半期 29年7月～29年9月	第3四半期 29年10月～29年12月	第4四半期 30年1月～30年3月
売上高	1,434	1,953	—	—
売上総利益	604	747	—	—
営業利益又は営業損失(△)	△316	20	—	—
経常利益又は経常損失(△)	△311	22	—	—
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△246	21	—	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△136	12	—	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△12.20円	1.14	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,608	11,715	—	—
純資産	11,172	11,221	—	—
1株当たり純資産	998.62円	1,002.98	—	—

平成29年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 28年4月～28年6月	第2四半期 28年7月～28年9月	第3四半期 28年10月～28年12月	第4四半期 29年1月～29年3月
売上高	1,696	2,314	2,718	1,284
売上総利益	814	1,013	1,177	540
営業利益又は営業損失(△)	△33	97	294	△217
経常利益又は経常損失(△)	△25	89	328	△229
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△25	89	328	△229
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△18	63	198	△150
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△1.64円	5.67円	17.72円	△13.44円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,975	12,173	12,492	12,029
純資産	11,193	11,296	11,502	11,457
1株当たり純資産	1,000.53円	1,009.74円	1,028.13円	1,024.16円